

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策調整会議（国、組織委員会等）が取りまとめた**中間整理案（R2.12.2）**、**変異株に対応した追加的対策（R3.4.28）**に基づき、感染症対策を実施

区分	内容
聖火リレー	・密回避の注意喚起（広報車、拡声器等） ・設置物の接触防止措置 ・スタッフ用感染症対策グッズ配布 ・セレモニー会場での検温、巡回スタッフ
事前キャンプ ホストタウン	・市町の受入マニュアル作成支援、各保健所との調整 ・選手、関係者等への検査の実施 ＜ホストタウン等新型コロナ対策交付金＞（国のR2.第3次補正予算 127億円） ・選手等への検査費用、市町の交通、宿泊等の感染防止経費を国が負担
観戦客対策	・救護所の開設 ・マスク着用呼びかけ（看板、スタッフ配置）
都市ボランティア	・ボランティアの検温、手指消毒、マスク着用 ・対策マニュアル作成 ・オンライン研修の実施
ライブサイト	・来場者の検温、手指消毒、マスク着用 ・対策マニュアル作成 ・入場予約システム

【今後具体案提示とされた項目】

- ・観客等への対策（観客上限数の設定など）
- ・公道競技（マラソン・ロードレースなど）の対策
- ・陽性者の入院、療養先確保

12

レガシー創出

(1) 競技会場等のレガシー創出に向けた取組

○東京オリンピック・パラリンピック自転車競技レガシー検討委員会（平成30年6月設立）
経緯: サイクルスポーツの聖地創造会議にて、競技会場（日本サイクルスポーツセンター、ロードコース）のレガシー創出に係る早期検討をすべきとの意見を受けて設立

《構成: 委員長 静岡県スポーツ担当部長》

区分	トラック・マウンテンバイク競技会場	ロード競技会場
競技関係	日本自転車競技連盟、静岡県自転車競技連盟、日本パラサイクリング連盟	
	JKA	—
裾野拡大・ ツーリズム等	伊豆市	小山町、御殿場市、裾野市
	東部地域スポーツ産業振興協議会(E-spo)	
施設所有者	日本サイクルスポーツセンター	富士スピードウェイ
大会主催者	東京2020大会組織委員会	

競技会場等のレガシー創出に向けた取組方針(H31.3)

----- レガシーの早期実現に向けた組織体制検討の意見(H31.4.11@聖地創造会議) -----

計画及び取組の推進

○東京オリ・パラ自転車競技レガシー推進委員会(R1.9.13設立)

- ・自転車有識者(自転車事業者、大会主催者等)及び伊東市、伊豆の国市を委員に追加
- ・検討内容ごとにWGを設置し議論

⇒レガシー創出に向けて具体的な取組を推進するため体制を拡充

拡充

13

レガシー創出

(2) 競技会場等のレガシー創出に向けた取組

東京オリンピック・パラリンピック自転車競技レガシー推進委員会（レガシー創出に向けた取組 概要版）

1. 大会後の施設等の方向性

(1) トラック・MTB競技会場（旧：サイクリススポーツセンター（CSC））



《大会後の施設活用コンセプト》
 スリット選手から自転車初心者までが利用する自転車トレーニングヴェジッジとして活用を目的
 《施設活用戦略》

- 競技力向上の場
 【創出対象】
 ・アスリート向けトレーニングセンターなど
- 競技力向上の場
 【創出対象】
 ・子供や障害者の育成を促すサイクルスポーツに費し、学び、体験できる場
 【創出対象】
 ・市民層の競合体験会、講習会開催 など
- 競技力向上の場
 【創出対象】
 ・国際大会や競技大会の開催など
- 祭りやイベント・地域地域のサイクルツーリズムの誘引
 【創出対象】
 ・トレイルランナー参加型大会の誘引など

(2) コーシ競技会場（富士スピードウェイ（旧）を改修しロードコース）

《大会後の施設活用コンセプト》
 アジアのロード・レースの中心地
 《施設活用戦略》

- ロード・レース競技力向上の場
 【創出対象】
 ・トランスナショナル大会の誘引及び定期的開催
- ロード・レースの競技力向上の場
 【創出対象】
 ・トレーニングセンター
- 国際的なサイクルツーリズムの誘引
 【創出対象】
 ・サイクルツーリズムの誘引

2. 目指す取組等

(1) 目標

<p>ア. 自転車競技強化・育成拠点としての地位確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車競技全種別（トラック、MTB、ロード、BMX）の国内強化機能のCSCへの集約 ・タレント、アスリート育成、育成プログラムの構築 ・地域密着型自転車プロチームとの協業 	<p>イ. CSCを伊豆半島・東部地域における“スポーツハブ”として活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車（スポーツ）を中核とした、多分野（教育、健康増進、観光等、レクリエーション等）での事業展開 	<p>ウ. 競技大会の開催（国際・主要国内大会の開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> 《トラック及びMTB会場（旧CSC）》 2024年を目標にトラック及びMTBのW杯等の開催 《コーシ競技会場（旧W杯専用ロードコース）》 2023年を目標に国際ロードレース大会の創設
--	---	---

(2) 今後の取組

<p>ア. 本県の自転車文化を醸成するとともに、国内外に自転車文化を発信する体制等の整備</p> <p>《体制等に関する取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスリートの競技力向上 ・ジュニア・ミッド世代へのサイクルスポーツの普及や人材育成 ・自転車（競技）を核とした教育、健康増進、ツーリズム等、多分野にわたる総合的なプログラムの提供 <p>《取組事例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体制等の整備に向けた施設及び設備（増設、各関係機関が担う役割分担、体制等の構築、必要人材、資金、運営体制） ・競技力向上に必要な施設、設備等の整備の検討 	<p>イ. W杯の誘致・開催、国際ロードレース大会創設に向けた取組</p> <p>《取組事例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 《トラック・MTB会場（CSC）》 ・W杯開催・開催に向けた調査、準備 ・スリットアップ大会とするMTB国際大会創設や既存国内大会の開催 《コーシ競技会場（旧W杯専用ロードコース）》 ・ロードレース大会創設準備 ・世界大会（Tour of Amgen 等）でのレガシーコースの活用 《会場活用等》 ・大会開催に併せた地域に即した種別別取組等
--	--

自転車（競技）人口の底辺拡大、アスリートの強化・育成等、自転車文化を醸成する場へ